

ユーザーマニュアル - Outdoor Pizza Oven 『diano pizza』

製品をご使用前に必ず取扱い説明書をよくご確認の上ご使用ください

特に LPG ガスを使用いたしますので危険を伴います。

よく熟読し安全にご配慮いただいた上でご使用下さいますようお願い致します

当社のウェブサイトでは、ビデオで着火方法についての注意事項を見ることができます。

ユーチューブ動画

『diano pizza 着火方法 1』

<https://youtu.be/D1tTXui97Fw>

もしくは『diano pizza 着火方法 2』を見てください。

ポータブルガスピザオーブン ディアーノピザの特徴

400 度以上の高温により薪窯と同じ温度環境をオーブン内に実現し、本格的なナポリピザの調理を可能とする。（耐火煉瓦推奨表面温度は 350 度から 450 度）

主な仕様

機種名: ポータブルガスピザオーブン ディアーノピザ

型式: Diano pizza 40

点火方式: 圧電点火方式

安全装置: 段階式点火装置、立ち消え安全装置

最大外形寸法（使用状態）: 470mm（幅）x550mm（奥行）x 420mm（高さ）

使用燃料: LPG プロパンガス

本体重量: 23kg

出力（ガス消費量）: 最大約 2,3kW/h(8000BTU) 最小約 0,8 kW/h(2000BTU)

使用可能環境: 風通しの良い野外



警告



ガスの着火方法は取扱説明書をよくお読みになり、ダイヤルをゆっくりと開けるようにしてください。

使用時にはオーブン内部、前面上部は500度の高温となり大変危険です。

絶対に子供や障害者の方が使わないようにしてください。使用時は火傷防止のため、必ず付属の耐熱キッチン手袋をご使用ください。

高温余熱が残るため、ガスの火を消した後1時間以内にオーブンを素手で触らないようにして下さい。

注意

ガスピザオーブンを使用する前に、必ず以下の指示に従ってください。

- ① この製品は風通しの良い場所（テラス、ベランダ、庭、火器が扱える外出先など）で使用するオーブンです。

密閉された空間（テント内、住宅室内）で使用することを固く禁止します。

（室内や密閉空間による誤った使用による火災や事故については一切責任を負いませんのでご注意ください）

- ② ガス漏れの臭いを感じたら：

1. ガスバルブを閉じます。
2. 炎が消えているか確認する。

ガスの漏出によって、重傷を負ったり火災の原因となったりすることがあります。ガス漏れが発生した場合は、火災や爆発を防止するために、オーブンのバーナーに急いで火を点けたりしないで、誤動作の原因を確認してください。

この製品はLPGガス仕様となっており、ガスを自由に詰替えすることはできません。

- ③ 本体に必ず足（4本足）を取付し、安定したテーブルにおいてください。

直置きや不安定な台に置くことを禁じ、これに基づく事故についての責任は負いません。

- ④ 輸入販売元であるエコレットカンパニー合同会社はガスオーブンおよびその構成部品の間違った使用によって起こりえる火災や事故については一切責任を負いません。

- ⑤ 本体以外にLPGガスタンクに調整器とゴムホースとゴムホースバンド2個をご用意しています。



本体のガス取入れ口のタケノコニップルにゴム管を差し込み必ず
ゴムバンドで絞めガスが漏れないようにし、漏れる事があれば使用しない事。

- ・ 強風時は炎が消えやすい為直接炉内に風が侵入しない様不燃性ガードを設置してください
- ・ 炎が消えたら、バルブを閉め、ガスボンベを閉じ、5分間ほどお待ちください。炎が風などによって消えた場合、熱センサーはガス出口を自動的に塞ぎます
(熱センサーの反応はオーブンの内部温度により行われ、直ぐにガスを塞ぐ事は出来ません。
場合によっては1分ほどかかることがありますので換気を充分に行ってください)

- ・ 着火方法はバーナー部の使用方法を参照願います。

窯内部のバーナーを絶対に覗くような顔を近づけることの無い様にしてください。

- ・ オーブン内での調理には耐熱セラミックやステンレスなどの耐熱器具を使用してください。
- ・ 使用中は、常にお子様、身体の不自由な方やペットなどをオーブンから遠ざけてください。誤って触ると火傷の原因になります。

特に前面上部の温度は500℃に達し、とても危険です。

必ず付属の手袋を使用し調理願います。また消火後1時間は冷めていない為素手で触ることは行わないでください。

オーブンは高温です、火傷など一切責任は負いませんので十分に配慮願います。

- ・ 電気ケーブルやガス燃料供給パイプを高温の場所に置いたり近づけたりしないでください。
- ・ 温度の影響により、表面の色が異なる場合があります。
- ・ 使用中はオーブン外面についても触れないでください。火傷する危険性があります。
- ・ オーブンは常に平らな場所に置き、強風の当たらない場所に置いてください。オーブンは木の机やプラスチックテーブルなどの可燃性物の上、また耐熱保護されていない可燃物近くでのご使用はしないでください。
- ・ 故障と思われた場合にはオーブンを使用しないで、販売店もしくは輸入元にお問い合わせください。
- ・ 使用中や熱いときはガスオーブンを動かさないでください。
- ・ オーブンを傾けたり、不安定に置いたりしないでください。安定性が損なわれ危険です。
- ・ このオーブンは屋外での使用のみを目的として設計されており、通気性のない部屋、ガレージ、密閉式の屋根付きのベランダなど換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。
- ・ ガスバーナーの炎を絶対に水で消さないでください。
- ・ オーブン内に水をかけて火を消さないでください。
- ・ オーブンの近くで裸火を使用しないでください。
- ・ LPG ガスボンベをオーブンの近くに置かないでください。(100cm 以上は離してください)

- ・ オープンにペンキを塗ったり、使用中に何かカバーをかけたりしないでください。
- ・ バーナー燃焼中は前面投入口を塞がないようにしてください。（酸欠で燃焼が出来なくなるためとても危険です）
- ・ 石炭、薪、ペレットなど、LPG 以外の燃料は使用しないでください。
- ・ レギュレータの接続については、専門の技術者に連絡して行ってください。
- ・ 一定時間操作をしなかった場合、ガス漏れがないこと、およびバーナーが塞がれていないことを確認してください。
- ・ 可燃物はオープンから 100 cm 以内に置かないでください。
- ・ 炎の調節が出来ない場合は、炎が消えるまで食べ物（ピザ）を炎から遠ざけてください。
- ・ 肉などの脂肪に引火した場合は、火が消えるまでガスを止めてください。
- ・ オープンは LPG 以外の種類のガスを使用するように改造してはいけません。
- ・ オープンを使用するときは耐熱キッチン用手袋を着用してください。

使用のための推奨事項

- ・ バーナーやガス調整器などに何らかの改造を加えることは潜在的に危険です。メーカー（輸入元）はオープンやその他の部品の改造によって生じた**損害について一切責任を負いません**。メーカー（輸入元）はガスオープンやその部品の**不適切な使用について一切責任を負いません**。
- ・ 現在の法律で許可されている接続ホース及び調整器は JLIA 規格製品のみを使用してください。
- ・ 圧力調整器とホースの交換には、JLIA 適正な使用期間や規格部品を使用してください。
- ・ 毎回使用前に、ホースに刻み目、亀裂、擦り傷、切れ目がないことを確認してください。ホースが何らかの形で損傷している場合は、オープンを使用しないでください。

着火する

オーブンを使用する前に、すべてのガス接続部を確認してください。

ガスタンクに調整器を取付、ゴムホースを調整器とオーブン本体に接続しゴムホースバンドをしめてガスバルブを開きガスが漏れないことを確認してください。（この時点でガス漏れがある場合は使用をやめてください）

先ず右画像の様にバルブを時計回りに回し、バルブが締まっていることを確認ください。



接続後の最初はゴムホース内の空気が入っている為、種火に火がつきにくい状況となります。

その為、**バルブを開いて空気を出して LPG ガスを多少出してあげる作業が必要です。**

左画像でバルブを押しながら左に回し圧電素子による着火動作を行い、押ししたそのままの状態を保持させてゴムホース内の空気を抜いてください。（ゴムホースは極力短くしてください、長さによりますが 30 秒/m 位かかります。）

ガスの臭いがしたらバルブを止め、換気をして十分に溜まったガスを放出してください。

次に種火につける為再度バルブを押しながら左に回し、圧電素子による点火を行い種火に着火させてください。

種火はバルブから手を離れた状態でも火がついている様にしばらくはバルブを押さえたまま保持する事があります。

種火につきにくいのは種火点火部にガスが送られていない為点火がしにくくなっています。

それはゴムホースの長さに比例し管内の空気が妨げているので、上記のバルブの着火動作をさせたままバルブを押し続けてガスを種火迄送ってあげる事がポイントです。

種火に点火した後は一旦手を放してからバルブを最大に左に回し、バーナーに自然着火させます。

まだ、この時点ではバーナーの火力は弱いままです。

（右画像参照）





更にバルブを押し込みながら左に回し火力を上げてください。（左画像）

ガス発火中は絶対オーブンの上にもたれかけないでください。オーブンの口から顔や体を50cm以上の離してください。



オーブンの口は空気が入るように開いている必要があります。（酸欠にならない様に開放させておく事）

オーブンの口を何かのドアで閉じることは不適切で危険です。

（上記による火傷、ガス漏れや発火などの事故が起きても責任を負いません。）

火力調整はバルブを押しながら左右に回すことにより火力を調整することが可能です。

バーナーを完全に切るには、バルブを右に回し完全に火が消えることを確認してください。

ガス本体のバルブを閉めてください。

新品時は耐火煉瓦を弱火で1時間ほど燃焼させ慣らし運転をしてください。

LPG ガスオーブン：

LPG ガスボンベ使用上の注意

ガスボンベの取り扱いおよび関連する危険性に関するすべての情報については、有効な規制に精通している専門のディーラーまたは技術者に連絡してください。

- ・ 2 - 3 年ごとにガス管を交換することをお勧めします。
- ・ 2kg から 8 kg までの LPG ガスボンベを基本とします。
- ・ ホースをねじらないでください。
- ・ ホースの長さは 1.5 メートルを超えてはいけません。
- ・ 液体ガスプロパン（LPG）が「メタンガス」ではないことを確認してください。液体プロパンガスを動力源とする装置でメタンガスを変換または使用しようとするのは危険です。その場合この保証は無効になります。
- ・ 錆びたまたは傷ついたガスボンベは危険な場合があるため、ガス機器の供給元に確認する必要があります。バルブが損傷しているガスボンベは使用しないでください。
- ・ 一見空のガスボトルでも実は中にガスが残っています。このことを注意して輸送や保管を行なってください。

オーブンを守る

- ・ ガスオーブンを使用しない場合は、ガスボンベ供給バルブを閉じてください。
- ・ ガスオーブンが密閉された部屋に保管されている場合は、ガス供給バルブを外します。ガスボンベは換気の良い場所で外に置いておく必要があります。
- ・ ボンベがガスオーブンから取り外されていない場合は、ガスオーブン装置全体とタンクを換気のよい屋外に保管してください。（ボンベは高温環境に置かずに直射日光があたらない）
- ・ ガスボンベは、換気のよい場所で、子供の手の届かない場所に保管してください。未使用のシリンダーは、建物、ガレージ、その他の密閉された場所に保管しないでください。

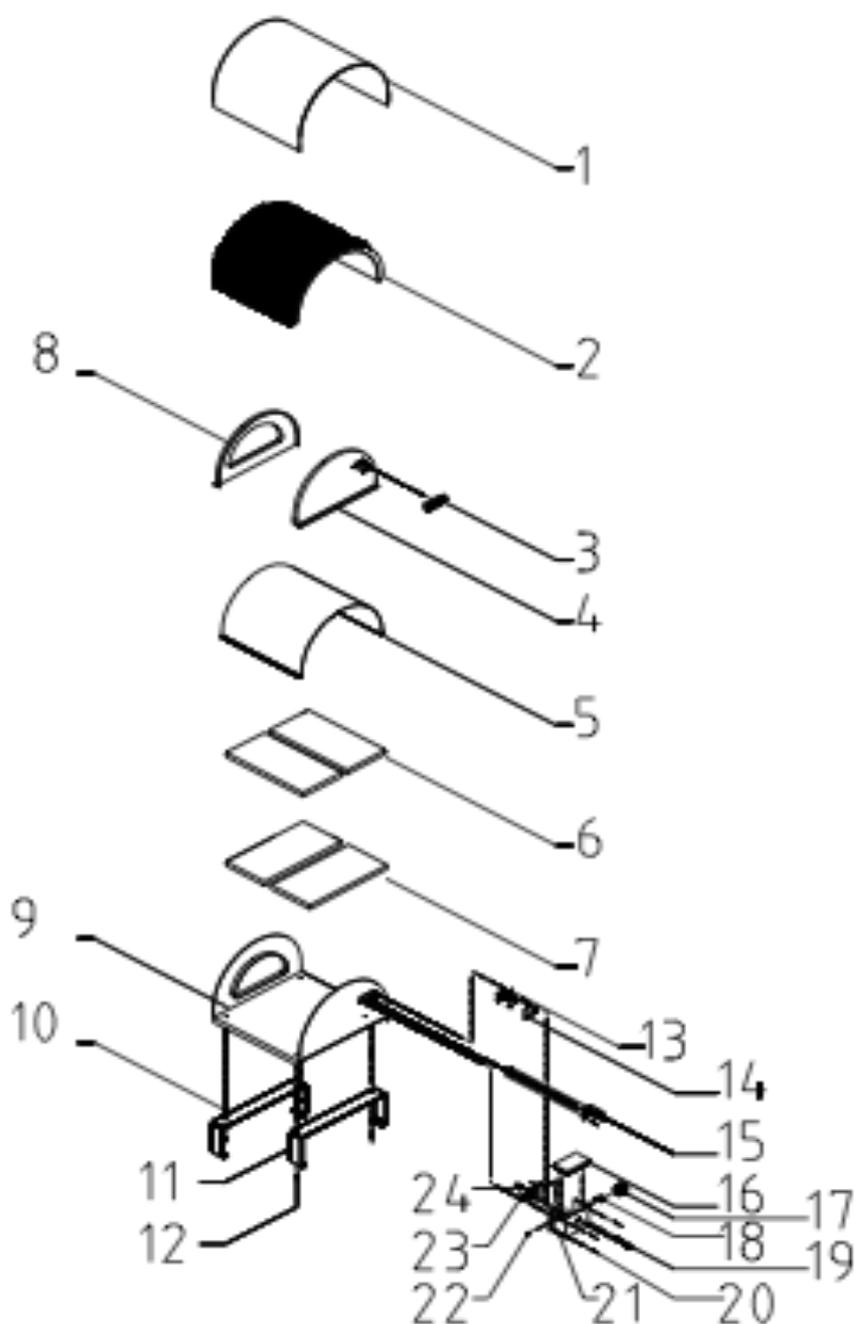
ピザの焼き方

- 1 最初の点火では 200℃前後の適度な熱で約 1 時間 30 分ほど炉内を熱し、耐火レンガを十分に乾燥させて下さい。
- 2 ナポリのピザを作るためのオーブンの加熱
最大火力で 15-20 分オーブンを加熱してから火力を下げます。
- 3 ナポリピザの焼くときの火力管理
ピザを焼くときは最大火力で、ピザを取り出したときは 80%の炎を保ってください。
- 4 普通のピザのためのオーブンの加熱
最大火力で 20 分オーブンを加熱してから火力を下げます。
- 5 各種ピザの火力管理
中火で調理温度を約 350～400℃に保ちます。

梱包内容一覧：

- ・ ディアーノピッツアオーブン本体
- ・ ピザピール大小セット
- ・ 非接触赤外線温度計
- ・ 耐熱キッチン手袋
- ・ 耐火煉瓦（20cm×40cm）2 枚

No.	部品名	数量	No.	部品名	数量	No.	部品名	数量
1	トップカバー	1	10	リベット、ナット	4	19	インレットコネクター	1
2	断熱材	1	11	オープン足	2	20	リベット	8
3	パイロットバーナーカバー	1	12	ボルト	4	21	ガスバルブカバー	1
4	後部パネル	1	13	パイロットバーナーセット	1	22	ねじ	4
5	インナーボード	1	14	ガステーブセット	1	23	ガスバルブアッセンブリー	1
6	耐火煉瓦	2	15	ガスバーナーセット	1	24	ノズル	1
7	断熱材固形	2	16	カバープレート	1	25	グローブセット	1
8	後部パネル	1	17	ダイヤルセット	1	26	赤外線センサー	1
9	ベースプレート	1	18	ガスバルブ固定ナット	1	27	ピザピールセット (大小)	1



27



26



25



保証書

品名	番号
DianoPizza 40	
保証期間	お買い上げ日から 本体 1 年間
お買い上げ年月日	年 月 日
お客様名	
ご住所 〒	
TEL :	
販売店名・住所・電話番号・担当者等	

* この保証書は、本書に明示した期間及び条件のもとに、製品の修理をお約束するものです。
ご不明な点、詳細はお買い上げの販売店迄お問い合わせください。

<<保証書について>>

- ・ 保証書は必ず「お買い上げ年月日」「販売店名」等記入必要所定事項が記入されているかご確認の上、大切に保管してください（保証期間：1 年間）

<<修理依頼について>>

- ・ 保証期間中は本保証書をご提示の上お買い上げ販売店までお申し付けください。
尚、保証期間を過ぎている場合も同販売店にご相談ください。

製品を輸送される場合の運賃・送料はお客様のご負担となります。

＜＜保証規定について＞＞

1. 本保証書は、取扱い説明に従った正常な使用状態において故障した場合に適用します。ただし、下記のいずれかに該当する場合は保証期間内の故障であっても有償となります。
 - 1) 本書のご提示がない場合。
 - 2) 本書のお買い上げ年月日、販売店名等記入必要所定事項の記入がない場合、あるいは、字句・文言を書き換えられた場合。
 - 3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障及び損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移送時の落下等お取扱いが不適切な為に生じた故障及び損傷。
 - 5) 当該製品に既に分解した痕跡がある場合、もしくは弊社または弊社指定のサービスマン以外のものにより修理・改造されている場合。
 - 6) 消耗品の場合
2. 保証期間はお買い上げ後の日から1年です。修理保証対象は本体部品に限ります。
3. 保証期間であっても、修理・初期不良対応等を依頼される際、当社の検査の結果、不良を認められない場合は別途診断手数料及び諸経費をお願いする事がございます。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
5. 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しない様に大切に保管してください。

販売元
エコレットカンパニー合同会社
〒383-0024
長野県中野市東山 3-1
TEL : 0269-38-0014
FAX : 0269-38-0042
<https://ecolletcompany.jp>